



令和3年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 47

令和4年3月18日

文責:校長 神尾孝弘

4月からの登下校を確認

3月17日(木曜日)。子どもたちが、4月から通う川俣小学校への登下校の予行練習を行いました。スクールバスの乗車を体験したり、通学路を実際に歩いたりすることで、4月からの登下校がスムーズにできるようにするのがねらいです。

初めてスクールバスに乗るといふこともあり、バス停で待つ表情は、わくわくドキドキの様子です。バスの中でも、車窓の景色を興味深そうに眺める姿がありました。終点の町役場からは、みんなで歩いて、通学路の確認です。どの班も、きちんと一列になり、上手に歩くことができました。

川俣小学校の校長先生が子どもたちを迎えてくださいました。そして、新年度に向けた希望あふれる言葉をかけてくださいました。



福田小でのたくさんの思い出をお土産にして、4月からは、新しい川俣小学校での生活が始まります。今回の予行練習を生かして、みんな仲良く安全に登下校してほしいと思います。そして、元気いっぱい充実した日々を送ることを願っています。

【卒業する6年生へ／地域の皆さんからのエール】

○「卒業記念の陶器完成」

3月15日(火曜日)。昨年12月に、近藤京子さん(大堀相馬焼窯元第15代窯主)の指導のもと、6年生が制作した陶芸作品が焼き上がり、卒業記念品として子どもたちの手元に届けられました。制作を支援いただいた羽田の武藤さんと秋山の佐藤さんが来校し、作品の引き渡し式を行いました。

子どもたちは、完成した自分の作品を見て、中学校へ向けての決意を新たにしました。子どもたちの成長と飛躍を願う温かい気持ちに答えられるよう、中学校でも、自分の力を思う存分発揮してほしいと思います。



○「ミズキの木のペン立て」

3月17日(木曜日)。秋山の蓮沼さんから6年生に、ミズキの木で作ったペン立てがプレゼントされました。さらに、これから中学校へ進む6年生に、温かい励ましの言葉を送ってくださいました。蓮沼さんの豊かな経験に裏付けされた話に、子どもたちはうなずきながら聞き入っていました。福田地区の子どもたちをずっと気にかけてくださる蓮沼さんの思いに感謝しながら、中学校でもみんな仲良く頑張ってくれることを願っています。